



決算や事業計画を審議する定期総会の様子

町田第二地区協議会では、地域で取り組むべき課題を3つに絞り、地区内の各種団体と連携を図りながら取り組みを進めています。

取り組みの3本柱

①子どもの見守り事業

登下校時の見守りや通学時間帯の車両進入禁止用看板の設置などをおこない、子どもたちにとって安全安心な地域をめざしています。

②高齢者の見守り事業

町田市役所高齢者福祉課や高齢者支援センターと連携し、さりげない見守りや積極的な見守りを進めています。

また、認知症を理解する取り組みを進め、高齢者が安心して暮らせる地域をめざしています。

③防災・防犯事業

災害発生時の避難施設（学校）の運営体制確立をめざし、各種団体と連携した避難施設開設訓練を実施しています。

また、安心して暮らせるように防犯パトロールにも取り組んでいます。

町田第二地区協議会とは

地域住民の生活全般に関わっている町田第二地区町内会・自治会連合会と、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会の他、教育、福祉、防犯、防災等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報を共有し、地区の課題について話し合い、取り組むべき事業を自ら選択し、実施するための組織です。

活動エリアは、旭町1～3丁目、中町1～4丁目、本町田、森野1～6丁目です。

参加団体（21団体）

町田第二地区町内会・自治会連合会（35町内会・自治会）、青少年健全育成地区委員会（町田中央・森野・本町田・薬師地区）、民生委員児童委員協議会（町田第一・町田第二地区）、町田第一小学校、町田第三小学校、町田第四小学校、本町田東小学校、本町田小学校、藤の台小学校、町田第一中学校、薬師中学校、都立町田高等学校、町田第1・町田第2高齢者支援センター、町田市消防団第1分団、町田市社会福祉協議会、町田デザイン専門学校

（2018年1月1日時点）

事務局（お問合せ先）

〒194-8520 町田市森野二丁目2-22

（町田市役所市民協働推進課内）

TEL：042（724）2783 市民協働推進課

E-Mail：siminbu130@city.machida.tokyo.jp



町田第二地区協議会の
ロゴマークです



あなたも活動に
参加してみませんか

町田第二地区 協議会

誰もがいつまでも住み続けたいと
思える地域をめざして…



防犯パトロールの様子

地区協議会をつくったわけは？

私たちの身の回りには、福祉、教育、防災、環境、健康、防犯、その他のさまざまなテーマごとにたくさんの団体が活動し、生活の安全安心を支えています。

ところが、景気の低迷や高齢化社会の進展など、社会情勢の変化の中で地域での交流があまり行なわれなくなり、支え合い・助け合う間柄が失われつつあるようになってきました。

地域の課題もいろいろな要因から成り立つものが増えたため、これまでのテーマ別、個別団体別の対応では解決できなくなり、団体同士の協力・連携が必要になってきました。

そこで、地域で活動するさまざまな団体が一つのテーブルに着き、地域課題の現状を共有し、連携して解決に取り組む組織として、「地区協議会」をつくりました。

町田第二地区協議会はいつできたの？

2013年12月に町田市は「協働による地域社会づくり推進計画」を策定しました。この計画の目標の一つとして「地区協議会の設立」(以下「計画」)が掲げられました。

翌年2月から4月に、町田第二地区の町内会・自治会連合会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会を対象に計画に関する説明会が開催されました。

同年7月から、町内会・自治会連合会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会が集まり、地区協議会設立に向けた意見交換を行い、10月に地区協議会設立準備会が設置されました。

準備会ではさらに詳細を検討し、12月2日に町田第二地区協議会説明会を開催し、同月17日に市役所2階市民協働おうえんルームで設立総会を開催し、活動がスタートしました。



避難施設開設訓練の様子

他地区の動きは？

地区協議会は、地区の特性と資源を生かして地区の課題を解決するための組織です。設立にあたり、町内会・自治会連合会の地区連合会、青少年健全育成地区委員会、民生委員児童委員協議会の3団体が参加することを要件としています。

地区協議会の組織単位は、地区連合会の組織単位である10地区を基盤としており、代表は地域活動の中心である地区連合会の会長が務めることになっています。

地区協議会は、地区で活動する多様な団体が集まった組織であるため、企画を考える会議や事業を運営するなかで、構成団体間の関係性を深めるところから活動がスタートしました。

現在、市内10地区のうち9地区で協議会が設立され、それぞれの協議会ごとに事業が進められています。地区協議会の活動を地区の住民や活動団体へ周知するために、PRチラシの作成なども積極的に行っています。

2016年12月、2018年1月には、9地区の協議会が一堂に集まり、それぞれの活動を紹介し、事業を振り返る「自慢大会」が行われました。

町田第二地区協議会がめざす将来像 誰もがいつまでも住み続けたいと 思える地域

〈地区協議会のイメージ図〉

